

## 第5章 将来の環境像と基本目標

### 1 環境の将来像

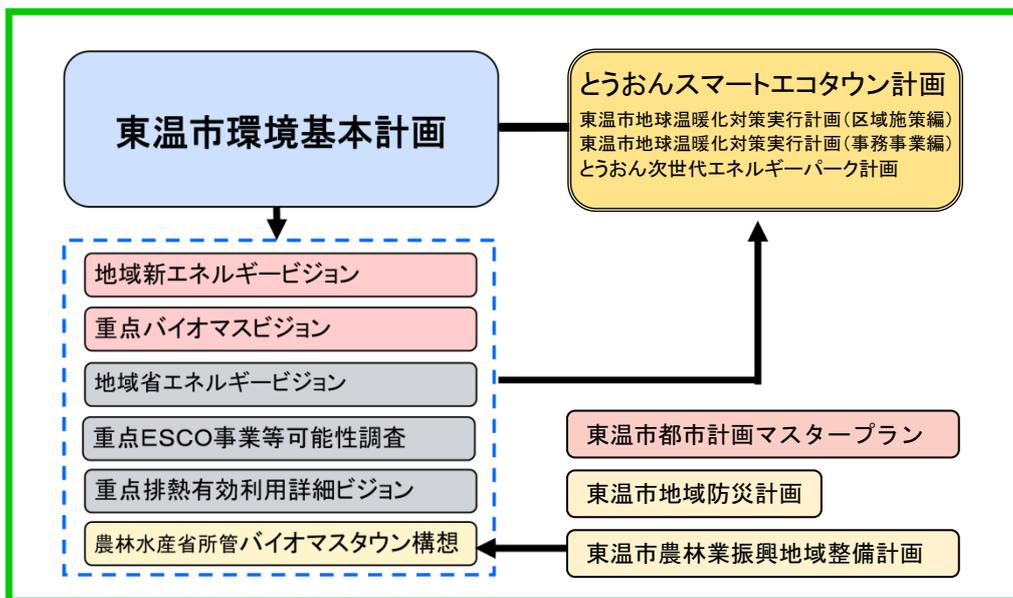
第2次東温市総合計画の将来像『小さくてもキラリと光る 住んでみたい 住んでよかった 東温市』を環境の側面から具現化するため、本計画が目指す環境の将来像を掲げます。

# わ 東温市環のまちづくり ～ロハスタウンを目指して～

東温市の環のまちづくりは、持続可能なまちづくり、連携の環づくり、資源循環を目指すものです。

人間社会を包み込む環境全体に関わる課題としてのエコロジーを考えたとき、環境の問題を環境問題単体として捉え解決しようとするのは不可能です。それに加えて社会のさまざまな関係の改変や人間の心のあり方を変えていくこと、これらに関連的に考えてこそ初めてエコロジーの問題は、解決の方向へ向かうものと考えます。

※ロハスタウン：健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイルの考え方を導入したまちづくり



## 2 基本目標

本市が目指す環境の将来像を実現していくため、環のまちづくりの3原則を徹底させた3つのエコロジー（基本目標）を設定します。

- 原則1「環境と健康の」重視
- 原則2「東温市らしさ」の創造と発見
- 原則3「協働体制と自立力」の強化

### I 人間（心）のエコロジー（環境教育・学習及び環境保全活動）

幼い時からの一貫した環境教育や生涯学習としての環境学習の推進により、地域の環境に対する知識と理解を深め、将来にわたってより良い環境を創り、守っていく人を育成します。

また、食の安全・安心に努めながら環境と経済の好循環を目指していきます。

### II 環境のエコロジー（地球環境・自然環境）

地球温暖化に対する認識や意識を高め、日々の暮らしの中で、地球環境に配慮し、防災と融合させた行動をとる仕組みづくりを推進します。

また、資源が循環し豊かな自然と共存していくシステムを構築します。

### III 社会のエコロジー（生活環境・快適環境）

山並み、田園、市街地の景観が調和した美しいこのまちで、県内住みやすさNo.1のまちを守り、いつまでも暮らし続けたいくなるまちづくりを進めます。

#### 温室効果ガス削減目標「とうおんスマートエコタウン計画」

平成42（2030）年度\*に、  
基準年度である平成25（2013）年度比で

# 27.7%削減

【平成25（2013）年度排出量：294,680 t-CO<sub>2</sub>】

※平成42(2030)年度:平成27(2015)年の気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)で合意した「日本の約束草案」で示された国の削減目標における目標年度

### 3 施策の体系

人間（心）のエコロジー【人間の健康】・環境のエコロジー【自然の健康】・社会のエコロジー【社会の健康】の3つのエコロジー（基本目標）は、相互に関連させ施策を体系化し、環のように横断的実践をしていきます。

